

【専門分野】

科目名	在宅療養を支える看護Ⅰ（概論）	講師名	専任教員（13） 岡山医療センター看護師（2）	学	2	履修期	第1学期				
単 位	1単位			年							
時間数	30時間（内15時間）										
講師実務経験	専任教員：看護師としての臨床経験、看護管理者としての実務経験あり。										
授業概要	保健医療福祉における在宅看護の役割と機能、在宅で療養する対象とその家族が抱える問題、さらに対象を取り巻く地域社会の人々とその関係、地域サービスシステムを学ぶ。										
授業科目目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 在宅看護の必要性や今後の課題をふまえ、在宅看護の対象に対する看護を理解できる。</li> <li>2. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割を理解できる。</li> <li>3. 継続看護の実際について理解できる。</li> </ol>										
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1回：在宅看護の背景 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 社会的背景と国民の価値観の変容</li> <li>2) 日本の在宅看護の変遷と今後の課題</li> </ol> </li> <li>2回：在宅看護の基盤 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 在宅看護と訪問看護</li> <li>2) 在宅看護の役割・機能</li> <li>3) 在宅看護活動の特徴</li> </ol> </li> <li>3回：在宅看護の対象者 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 対象の特徴</li> <li>2) 対象者の生活と療養</li> <li>3) 施設内看護と在宅看護の違い</li> </ol> </li> <li>4回：在宅療養の場における家族 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 家族の定義</li> <li>2) 家族の機能・役割</li> <li>3) 家族形態に応じた看護</li> </ol> </li> <li>5回：地域包括ケアシステムにおける在宅看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域包括ケアシステム</li> <li>2) 地域包括ケアシステムにおける多職種連携</li> </ol> </li> <li>6回：在宅看護における安全と健康危機管理 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 在宅看護における危機管理</li> <li>2) 日常生活における安全管理</li> <li>3) 災害時における在宅療養者と家族の健康危機管理</li> </ol> </li> <li>7回：継続看護の実際 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 退院支援・退院調整</li> <li>2) 入退院時における連携</li> <li>3) 社会資源活用</li> </ol> </li> <li>8回：終了試験</li> </ol>					講義	講義	講義	講義	講義	講義
評価方法	筆記試験										
テキスト	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤, 医学書院.</li> <li>2. 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実際, 医学書院.</li> </ol>										
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国民衛生の動向 2020/2021, 厚生統計協会.</li> <li>2. 医療福祉総合ガイドブック 2019年度版. 医学書院.</li> </ol>										
学生へのメッセージ	<p>少子高齢化の進展とともに、『医療機能の分化・連携の推進による切れ目のない医療の提供』『在宅医療の充実による患者の生活の質（QOL）の向上』が求められ、在宅看護はますます重要となってきています。病院での看護との違いに着目して、在宅看護を学習してください。</p> <p>【関連科目】人間関係論、倫理学、家族関係論、生活を支える看護Ⅰ・Ⅱ、老年看護学概論</p>										

【専門分野】

科目名	在宅療養を支える看護Ⅰ（概論）	講師名	非常勤講師	学	2	履修期	第1学期			
単 位	1単位			年						
時間数	30時間（内15時間）									
授業概要	保健医療福祉における在宅看護の役割と機能、在宅で療養する対象とその家族が抱える問題、さらに対象を取り巻く地域社会の人々とその関係、地域サービスシステムを学ぶ。									
授業科目目標	1. 在宅看護に関連する法規や制度を理解できる。 2. 在宅看護に活用できる社会資源を理解できる。									
授業計画	1回：地域療養を支える制度 1) 社会資源とは 2) 社会資源活用における看護師の役割  2～3回：在宅看護に関わる法規 1) 医療保険制度 2) 介護保険制度 3) 生活保護制度  4回：障害者に関する法律 1) 障害の分類 2) 障害者認定 3) 障害者総合支援法 4) 精神保健福祉法 5) 発達障害児（者）支援法 6) 難病法  5回：訪問看護の制度 1) 訪問看護の特徴 2) 訪問看護の制度と現状 3) 在宅ケアを支える訪問看護ステーション  6～7回：ケアマネジメント 1) ケアマネジメントの概念 2) 介護保険制度におけるケアマネジメント 3) ケアマネジメント過程・演習  8回：終了試験					講義	講義	講義	講義	講義 グループワーク
評価方法	筆記試験									
テキスト	1. 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤, 医学書院. 2. 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践, 医学書院.									
参考書	1. 医療福祉総合ガイドブック 2019, 医学書院. 2. 国民衛生の動向 2020/2021, 厚生統計協会.									
学生へのメッセージ	少子高齢化の進展とともに、『医療機能の分化・連携の推進による切れ目のない医療の提供』『在宅医療の充実による患者の生活の質（QOL）の向上』が求められ、在宅看護はますます重要となってきています。病院での看護との違いに着目して、在宅看護を学習してください。 <b>【関連科目】</b> 人間関係論、倫理学、家族関係論、生活を支える看護Ⅰ・Ⅱ、老年看護学概論									